

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1236	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

本ゼミナールでは、札幌市のインバウンド客受け入れの実態を把握し、課題を見出して改善案を提示することを目標とします。まず、札幌市内でフィールドワークを実施して、ハラルツーリズムと中国人訪日観光客の受け入れ実態を把握します。ついで、フィールドワークで得たデータを分析検討して、課題を見出し、改善案を提案します。これら一連の作業は全て自らが能動的に行ない、その成果をプレゼンテーションという形で発表します。以上から、インバウンドの実相を理解し、グローバルに活躍できる力の獲得を目指します。

● 到達目標

- ・ 課題を自ら発見して探求する力。
- ・ 自分の考えを根拠をもって論理的に説明できる力。
- ・ 異文化に対する理解力を養う。

以上から、グローバルな観光現場において、実践できる能力の獲得ができます。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：ゼミの進め方、方針
- 2週目 フィールドワーク準備 ハラルツーリズムとは？
- 3週目 フィールドワーク 札幌マスジド訪問
- 4週目 フィールドワーク ハラルショップ訪問
- 5週目 報告書作成 フィールドワーク ~
- 6週目 フィールドワーク 中国人訪日観光客に対する観光インフラの実態
- 7週目 報告書作成 フィールドワーク
- 8週目 参考文献の検索・調査の方法 研究計画書 作成手法について学ぶ
- 9週目 フィールドワーク 各自課題に基づいてフィールドワークを実施
- 10週目 発表原稿の作成
- 11週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する
- 12週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する
- 13週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する
- 14週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する
- 15週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

週3時間の予習・復習をすること。研究発表ではパワーポイントで内容をまとめてください。

● 成績評価の方法・基準

フィールドワークの実施と報告書作成、研究計画書、研究発表、以上4点を主要評価項目とします。また、プレゼンテーションや議論への参加度も評価の対象となります。

● 履修上の留意点

遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。発表については全員で評価します。

● 課題に対するフィードバックの方法

報告書については、基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。
研究発表については、口頭にてコメント・評価します。
研究計画書については、評価・添削して返却します。

● テキスト

特になし。必要に応じてレジュメを配布する

● 参考書

- 佐々木良昭『ハラルマーケット最前線』（実業之日本社）1650円
- 中島恵『「爆買い」後、彼らはどこに向かうのか？ - 中国人のホンネ、日本人のとまどい』（プレジデント社）1650円

● 更新日付

2020/03/04 09:40